

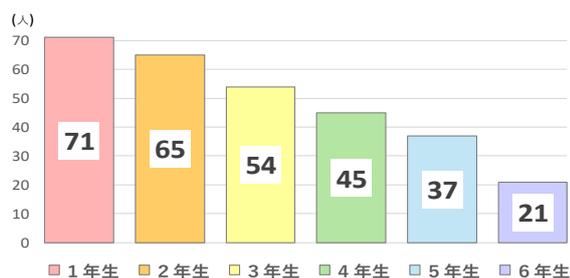
青森県内において、平成28年から令和7年までの間、歩行中に死傷した小学生（293人）の交通事故について分析したところ、

- 小学1年生が多い
- 登下校等時が多い
- 道路を横断中が多い
- 違反は飛出しが多い

という特徴がありました。

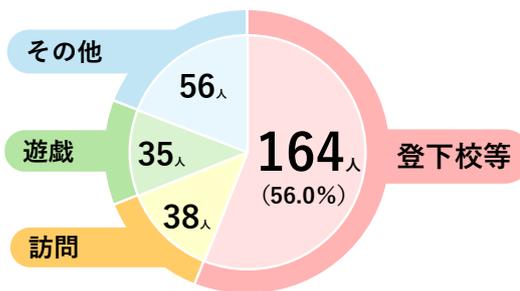
1. 学年別の死傷者数

学年別の死傷者数を見ると、小学1年生が最多で、71人（24.2%）となっていました。学年が上がると、死傷者数は減少傾向にあります。



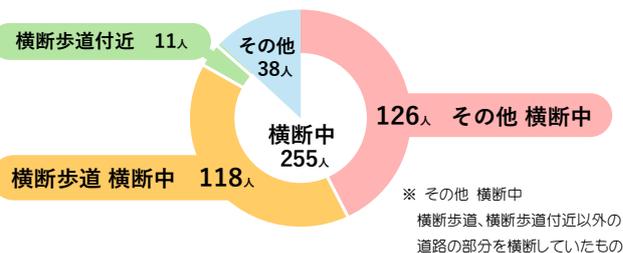
2. 通行目的別の死傷者数

通行目的別の死傷者数を見ると、登下校等の死傷者数が164人（56.0%）で過半数を占めています。



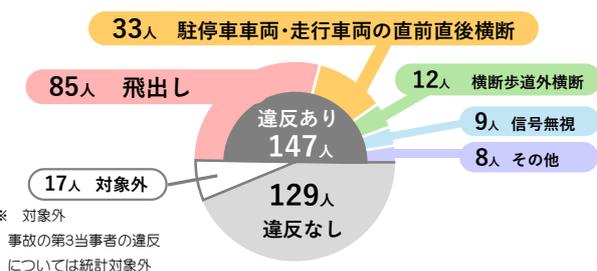
3. 事故類型別の死傷者数

事故類型別の死傷者数を見ると、横断中の死傷者数が255人（87.0%）となっていました。横断中のうち、その他横断中に該当する死傷者数が最多で126人（43.0%）、横断歩道横断中の死傷者数が118人（40.3%）となっています。



4. 違反別の死傷者数

違反別の死傷者数を見ると、違反ありが147人（50.2%）で過半数を占めています。違反の内訳は、飛出し違反が85人（57.8%）で過半数を占め、その次に多いのは、駐停車車両・走行車両の直前直後横断違反で、33人（22.4%）となっています。



保護者の方へのお願い

子供たちに交通ルールを指導してください！
信号機・横断歩道の有無に関わらず、道路を横断する際は、

- 止まって、左右の安全確認をする
- 手を挙げるなど、横断の意思表示をする
- 車の前に飛び出さない

など、繰り返し教えて、習慣づけをしましょう。



ドライバーの方へのお願い

子供は予測不能な行動をするかもしれないので、

- 登下校の時間帯に通学路を走行するとき
- 駐停車車両、建物等の影で見通しが悪い場所を走行するとき
- 横断歩道や交差点付近を走行するときは、速度や歩行者との間隔に十分注意し、「かもしれない運転」を心がけて交通事故を防ぎましょう。